

授業科目 義肢学特論実習

【担当教員名】 大沼 雅之		対象学年	4	対象学科	義肢	
		開講時期	前期	必修選択	選択	
		単位数	2	時間数	60	
【ディプロマポリシーとの関連性】						
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現		
○		○	○	◎		
【概要・一般目標：G10】 義肢の専門的な技術を身につけるために、最新の義肢ソケットの製作適合技術、アライメントの調整技術、部品の調整技術等について学ぶ。また最先端の義肢部品の取り扱い方や調整方法についても学ぶ。さらに義肢の評価方法や分析方法についても学び、これからの義肢に求められる機能や構造について探求する。また特殊症例の義肢のアプローチや、製作適合技術についても探求する。						
【学習目標・行動目標：SBO】						
<ol style="list-style-type: none"> 1. 本科目の全体的な概要と評価内容、評価方法を理解している。 2. 最新の義肢ソケットの採寸・採型、陽性モデル修正が説明ができる。 3. 最新の義肢部品を適切に取り扱うことができる。 4. 最新の義肢ソケットの評価と適合、アライメントの評価と調整ができる。 						
回数	授業計画・学習の主題				SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1-4	オリエンテーション（全体の概要と評価方法）、最新の下腿義足ソケット（ライナー）の採寸・採型 DEMO モデル：下腿切断者1名				1,2	説明・実習
5-8	最新の下腿義足ソケット（ライナー）の陽性モデル修正・チェックソケット成形・トリミング DEMO				2	実習
9-12	最新の下腿義足ソケット（ライナー）組み立て（最新の下腿義足部品によるベンチアライメント） DEMO				2,3	実習
13-16	最新の下腿義足ソケット（ライナー）の評価と適合、最新の下腿義足部品のアライメント等について評価と調整 DEMO モデル：下腿切断者1名				2,3,4	実習
17-20	最新の大腿義足ソケット（ライナー）の採寸・採型 DEMO モデル：大腿切断者1名				2	実習
21-24	最新の大腿義足ソケット（ライナー）の陽性モデル修正・チェックソケット成形・トリミング DEMO				2	実習
25-27	最新の大腿義足ソケット（ライナー）組み立て（最新の大腿義足部品によるベンチアライメント） DEMO				2,3	実習
27-29	最新の大腿義足ソケット（ライナー）の評価と適合、最新の大腿義足部品のアライメント等について評価と調整 DEMO モデル：大腿切断者1名				2,3,4	実習
30	まとめ					
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)		義肢学 第2版	日本義肢装具学会／監修、澤村誠志／編	医歯薬出版株式会社	2010・8,600円＋税	
		義肢製作マニュアル	日本義肢装具協会／監修、田澤英二／著	医歯薬出版株式会社	2010・7,600円＋税	
参考書		切断と義肢	澤村誠志	医歯薬出版株式会社	2009・7,000円＋税	
		理学療法 MOOK7	シリーズ編集、黒川幸雄 他	三輪書店	2000・3,800円＋税	
その他の資料						
【評価方法】 最終筆記試験、小テスト、レポート、出欠状況から総合評価する			【履修上の留意点】 欠席が時間数の1/3を超えた場合、単位認定資格を失う。遅刻2回で1回の欠席とする。 1回の欠席につき-5点、1回の遅刻で-3点、最終評価から減点する。			